

2021年8月10日

当社株主及びステークホルダーの皆様へ

アジア開発キャピタル株式会社

代表取締役社長 アンセム ウォン

平素より、当社株主及びステークホルダーの皆様におかれましては、当社グループへのご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

この度、当社は2021年8月7日付けで特設注意市場銘柄の指定（以下「本指定」といいます。）等を受けることとなりました。この事実を真摯に受け止め、現代表取締役社長である私ことアンセムより、皆様に対し、私自身の本件に対する覚悟と心構えを、以下の通りお伝えさせていただきたく、どうぞご高覧いただきますようお願い申し上げます。

1. 東証が本指定を行う理由とした、当社の会計不祥事について、私は、当社前代表取締役社長が取締役職を辞任した2021年1月末より、自主的に、徹底した内部調査を行い、開示すべき事実が判明すれば速やかに開示し、第三者委員会や特別調査委員会に調査を委嘱し、事実関係の解明や再発防止策の策定、更には、過年度決算の訂正開示や法定期限までの前期決算情報の開示に努めてまいりました。また、金融庁が実施した当該会計不祥事に係る調査に対しても、当社は、私以下役員一丸となって、積極的に協力してまいりました。私は、当社代表取締役社長に就任して以降、不正に対しては断固たる姿勢を貫き、当社として、正しい対応をしてきたと自負しております。しかしながら、この度、東証から本指定や上場契約違約金の徴求を受けることとなり、心から苦しく、上記会計不祥事を阻止できなかったことを悔しく感じております。
2. 私は、当社の現代表取締役社長として、上記会計不祥事を阻止できなかった責任を明確にするため、私の報酬を自主的に返納いたします。すなわち、当月8月の役員報酬より20%の減額を実施し、この減額をこれから1年間、継続いたします。

3. 当社の内部管理体制を早急に改善し、これからの1年間で本指定の解除を受けられるよう、私自身が陣頭に立ってリーダーシップを発揮してまいります。1年で本指定の解除を受けられず、指定延長となった場合には、私は責任を取り当社代表取締役社長を辞任し、2021年8月から2022年7月までの1年間の私の役員報酬を全額返納いたします。
4. 今後、当社の会社経営改革、業績向上を実現していくために、私自身が、健康管理を徹底し、その業務にあたってまいります。決して健康上の理由で責任放棄をするなどということが絶対にならないようにすることを、株主及びステークホルダーの皆様に対してお約束いたします。
5. 最後に、このほど当社が受けました上場契約違約金2,880万円の徴求につきまして、今週8月11日水曜日に当初予定を前倒しして発表予定の2022年3月期第1四半期決算（2021年6月30日期）に本損失を折り込み、計上いたしますことを報告申し上げます。

以上です。